

改訂版審査選考基準

スタートアップコース 審査選考基準

審査項目	評価内容	配点
事業の公益性	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市の不特定多数の住民の利益の増進につながる事が期待できる事業か。 地域や社会課題の解決につながる事が期待できる事業であるか。 	5
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 団体の自立が促され、活動が軌道に乗ることが期待できる事業か。 	5
目的の設定	<ul style="list-style-type: none"> 地域の現状やニーズを把握し、地域課題の解決に向けて的確に捉えた目的を設定しているか。 	5
事業提案の実現性	<ul style="list-style-type: none"> 提案事業に具体性があり、計画通り実施することが期待できるか。 課題を解決するために適切な手段であるか。 	5
費用の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 対象経費の内容、補助の申請額は適切か。 予算の見積り等が適正であるか 	5
継続性 発展性 将来性	<ul style="list-style-type: none"> 活動を継続させるための手法を具体的に計画しているか 事業を実施することで、団体の発展につながるか。 将来を見据えた考え方を取り入れているか。 	5
先駆性 専門性	<ul style="list-style-type: none"> 行政が実施する場合と異なる手法や効果が期待できるか。 市民活動団体等の特性を活かしたものであるか。 	5
合計		35

•以上の7項目について、各項目5段階評価とし、その合計点数の最高は35点とする。

評価	特に期待できる（非常に優れている）	期待できる（優れている）	妥当である（選考可能といえる）	期待できない（劣る）	全く期待できない（非常に劣る）
点数	5	4	3	2	1

協働コース 審査選考基準

審査項目		評価の視点	配点	
事業について	事業の公益性	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市の不特定多数の住民の利益の増進につながる事が期待できる事業か 地域や社会課題の解決につながる事が期待できる事業であるか 	5※	
	事業内容	団体の活動実績や経験や新しい視点に基づく、創意工夫に富む先駆的な事業内容であるか。	5	
	実現性	手法	事業を実施に求められる知識や経験等の専門性を有しており、事業を遂行できる組織体制と安定した組織基盤となっているか(法規制等の観点から実現可能か、適正な予算計上か、適正な人員数を確保しているか等)	5※
		役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体等と市との役割分担が明確であるか それぞれの専門性を活かしており、かつ、妥当性があるか。 	5※
		計画	つながる鎌倉エール事業協働コースにおける提案事業期間(3年以内)での明確な目標があり、実現可能な計画となっているか★。	5※
	必要性	事業の必要性	その事業に必要性が認められるか	5
協働の必要性		行政上の課題の解決や行政のノウハウを必須とするなど、鎌倉市が関わることが相応しい事業か(単に団体が行う活動の提案ではないか)。	5※	
協働について	協働の効果・成果	協働自体の効果(波及効果)	鎌倉市と協働することで、関係者同士の連携が強化されることや、周辺地域における協働の意識が醸成される等の波及効果が期待できるか	5
		協働の成果(相乗効果)	鎌倉市と協働することで、互いに強み・弱みを補完し、提供される事業の質が向上することが期待できるか。	5
	双方の実施体制	団体及び担当課が互いに協働する体制が整っているか。	5	
合計			50	

※印の各項目の平均点が3点以上で、かつ各項目の平均点の合計が30点以上

★4年目以降の計画や協働の継続を妨げる審査項目ではなく、あくまでも協働コースの3年間についてのみ審査するという趣旨です。

・以上の10項目について、各項目5段階評価とし、その合計点数の最高は50点とする。

評価	特に期待できる (非常に優れている)	期待できる (優れている)	妥当である (選考可能といえる)	期待できない (劣る)	全く期待できない (非常に劣る)
点数	5	4	3	2	1

新コース 審査選考基準

審査項目	評価内容	配点
事業の公益性	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市の不特定多数の住民の利益の増進につながる事が期待できる事業か。 地域や社会課題の解決につながる事が期待できる事業であるか。 	5
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 活動地域の住民が新たな活動のメンバーとなることができ、地域内の相互協力による活動や連帯を促進させる事が期待できるか。 提案事業に具体性があり、計画通り実施することが期待できるか。 補助の実施年度だけではなく、将来を見据えた考え方を取り入れているか。 	10
目的の設定	<ul style="list-style-type: none"> 将来に向けて具体的な目的や目標があり、かつ、この事業における目的や目標も明確であるか。 	5
手段の適切性	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するために適切な手段であるか。 	5
費用の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 対象経費の内容、補助の申請額は適当か。 予算の見積り等が適正であるか 	5
継続性 発展性	<ul style="list-style-type: none"> 活動を継続させるための手法を具体的に計画しているか 事業を実施することで、団体の発展につながるか。 	5
先駆性 専門性	<ul style="list-style-type: none"> 行政が実施する場合と異なる手法や効果が期待できるか。 市民活動団体等の特性を活かしたものであるか。 	5
	合計	40

・以上の7項目について、各項目5段階評価とし、その合計点数の最高は40点とする。

評価	特に期待できる（非常に優れている）	期待できる（優れている）	妥当である（選考可能といえる）	期待できない（劣る）	全く期待できない（非常に劣る）
点数※	5（10）	4（8）	3（6）	2（4）	1（2）

※カッコ内は10点の項目についての指標。